



NO. 810
2004年3月5日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンBマジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年3月5日 第830回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「バイオテクノロジーと人類の未来」

当クラブ会員
アフィトリクスジャパン(株)代表取締役社長 鈴木 貞史 君

【前々回報告】2月20日 第828回例会

ロータリー創立99周年記念例会

◎会長報告

東京麻布RC関会長が来訪、2月9日(月)の東京麻布RCチャーターナイトは、334名の参加があり当クラブから38名の出席で盛会裏に終了でき、当クラブの支援協力に謝意を表された。西澤会長から「世界にただ1つの花」の唄になぞらえRIでオンリーワンクラブを期待したいとエールが送られた。

◎幹事報告(庄司次年度幹事)

第2回クラブフォーラム開催の件

(と き) 3月26日(金) 例会後 13:10～14:00

(ところ) 東京全日空ホテル B1 オーロラ

(テーマ) クラブ名称変更について

万障お繰り合わせの上、全会員のご出席をお願い申し上げます。

◎親睦委員会報告(圓谷委員長)

4月10日(土)親睦日帰りバス旅行を開催します。「多摩森林科学園」で満開の桜と種々の樹木、植物、鳥を見学し、有名な「うかい鳥山」で薩摩地鶏料理を堪能します。御家族を含む大勢の会員の皆さんの御参加をお願いします。

◎慶事披露 お誕生日祝／石川佳路君(2月20日)

◎出席報告

会員64名／出席39名・欠席25名(出席規定免除者7名)

ビジター 4名

【前回報告】2004年2月27日 第829回例会

第2750地区 地区大会に振替

日 時 2月26日(木)、27日(金)

会 場 新高輪プリンスホテル 国際館パミール

ホストクラブ 東京立川RC (当クラブ登録者40名)



(地区大会の内容は次週に掲載します)

3月行事予定

世界ローターアクトの日(13日)

世界ローターアクト週間(8日～14日)

2日(火) 火曜会

Wolfgang・Puck Café (アーク森ビル1F TEL 5572-2100)

5日(金) 3月定例理事会

東京全日空ホテル1Fかすみ 例会後13:40～15:00

ロータリー 100周年事業合同打合せ会

東京全日空ホテル1F かげろう 15:00～17:00

9日(火) 2004～2005年度千代田グループ第1回会長・幹事会

法曹会館 3F 富士の間 14:30～16:30

13日(土)～14日(日)

2004～2005年度会長エレクト研修セミナー [PETS]

生産性国際交流センター

(神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村)

18日(木) 2750地区千代田グループ予選ゴルフ大会

霞ヶ関カンツリー倶楽部 西コース

26日(金) 第2回クラブフォーラム

東京全日空ホテルB1オーロラ 例会後13:10～14:00

テーマ「クラブ名称の変更について」



2月20日 /12件 32,000円

2003～2004年 累計 955,400円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

関征春・清原元輔(麻布RC) /チャーターナイト数多くの御出席とお手伝い有難うございました。大日方真／青梅マラソン走ってきました。野口選手が日本記録を出したので賑やかでした。青梅RCが選手の誘導をしていました。小杉修造 / 6人目の孫が生まれました。新保國彦 / 初孫が(男子)が誕生しました。馬場一廣 / 麻布RCチャーターナイトでは世話になりました。有難うございます。コンシニ・ティエリ / ずっと欠席しておりました。申し訳ありません。この3週間は、生まれて始めて世界1週の出張でした。イギリス、アメリカ、オーストラリア、責任は今アジア太平洋まで広がりました。メイクアップで頑張ります。福島賢哉 / 鈴木さん今日は！、皆さん風邪には注意しましょう。尾上寛 / RCの同じ仲間と週3回会っています。はっきり言ってワイフと居るより長い時間一緒にいます。田村廣治 / 風邪気味です、皆さんのパワーを頂戴したいです。西澤民夫 / 鈴木さん頑張ってください。鈴木さん今日は。鈴木貞史 / 特に理由はありません。

元会長 大日方 真



ロータリークラブは、来年2月に創立100周年を迎えます。100年前というのは日露戦争の時代です。天皇陛下を絶対君主として崇め、富国強兵を掲げ、30年戦争にのめり込んで行く時代ですから、生きるための倫理や道徳、社会的規範は今とは全く違いました。

世界史の中でも20世紀というのは途方もない変化を遂げた100年でした。ロータリーは、100年間生き抜き発展してきましたが、国際社会と地域社会の変化の中で、創立時の面影がなくなる程に変わったとしても、それは自然なことではないでしょうか。

ロータリーが今なにをしなければならないか。RI会長の立場で世界を見ると、世界平和や地球環境の問題もさることながら、もっと緊急深刻なテーマが見えているのではないのでしょうか。世界には飢餓と病いに苦しみ生存を脅かされている人達、力尽きて死んで行く子供達、文字が読めない人達が沢山いる。この人達を救わなければならない。そのためにロータリークラブの組織をもっと大きくしたい、世界中のロータリアンに力を貸して欲しいと呼びかけているのだと思います。

ロータリーは資金集めの組織になってしまった、会員150万人という無理な目標を掲げて会員増強を押し付けている、RIが強力になり過ぎてクラブ活動がしにくい、と最近のロータリーの動きを否定的にとらえる人がいますが、私は、RI会長の目が世界中の恵まれない人達に向けられているのは、間違いではないと思っています。

RIが変わったということでロータリーが変わったと言う人が多いと思いますが、RIの立場と個々のクラブの立場では見えるものが違う。国際社会は、米ソの対立を軸とした冷戦構造が解消してから、局地的な民族紛争や宗教闘争が頻発して、その犠牲になり悲惨な生活を強いられている人を激増させた。またインターネットによって情報が瞬時にやりとりされるようになり、RIが気になる身近かな存在になったということもあります。

私達のクラブはどうでしょうか。私はクラブが創立されて半年後に入会しました。東京南から7名の経験豊かな会員が移籍されて新しいクラブの基礎を作りました。このクラブは創立したときから立派でした。私にはクラブの活動や運営に口を挟むなど思いも寄りませんでしたし、会員であることを誇らしく思いました。クラブから沢山の事を学び、さまざまな経験をしました。私にとってクラブは、有意義な頼れる存在でした。

しかし、17年経って日本の社会環境は大きく変わりました。ロータリアンであることをステータスだと思う人は少なくなりました。国や組織の力が弱まりそれに頼って生きて行くことが難しくなったのと同じように、ロータリーも頼れる組織とは言えなくなりました。

今大切なのはロータリアン一人一人が強くなること、私にとってロータリーとはなにかを認識すること、私がロータリーだと言えるまでの自信を持つことではないでしょうか。私が変わればロータリーが変わる。希望と自信をもって行動すれば、ロータリーは、時代の変化と要請に応えることが出来る元気な組織になります。

私が一番深くかかわったのは社会奉仕活動でした。その経

験から、ロータリーはどんなことでも出来る、個人や企業ではできないことが、ロータリーが企画し提案すれば、社会が評価し受け入れてくれることを実感しました。ロータリーは力を持っています。それを利用しないのはもったいない。新しいことにチャレンジして行動する。それがロータリーライフをエンジョイすることであり、クラブを活性化することになると思います。

ロータリークラブには会員に何かを与える力はない。受け身の姿勢では、クラブの持っている可能性を自分のものにすることができない。私はそう考えてこれからもクラブにかかわっていきたいと思っています。

2750地区新会員研修セミナーに参加して

鈴木 貞史

去る2月12日(木)、新宿京王プラザホテルにおいて2750地区新会員研修セミナーが行われ、昨年後半入会の新会員として参加させていただきました。ロータリークラブの発祥、その発展の歴史、綱領の成立における議論の詳細など、入会時に当クラブの情報委員の方から各種冊子、資料とともに拝聴した諸情報を再訪し、ロータリー活動の原点を見直す良い機会となりました。入会後まだ一年を経ず、当クラブの活動における自分の貢献の機会・方法を模索する毎日ですが、新会員セミナーに参加することにより、ロータリー活動の原点であるところの綱領、四つのテストに立ち返り、また、クラブの諸先輩の助言をいただきながら、Active, Contributing Memberとならんとする意欲を新たにいたしました。少し感想を述べさせていただきますと、『奉仕の概念』(Service Concept)の解説の中で、Serviceという英単語の訳語としての『奉仕』という日本語を当てはめるについて、本邦における先駆的ロータリアンの方々のご苦勞を理解いたしました。

Serviceという単語の『語感』= Connotationは必ずしも日本語の『奉仕』ともとは完全に一致させられるところではなかったのではありましょう。しかしながら、ロータリアンの中での『奉仕の概念』として使う上での『奉仕』はロータリアン・ボキャブラリーとしての“Service Concept”の『訳語』として確立されたのであろうと理解いたしました。しばらく、この『奉仕の概念』についてよく勉強してみたい、と考えました。

また、“He profits most who serves best”という標語についても、ロータリアンの『職業奉仕』の実践を鼓舞するものと理解しました。これは、文字通り、『職業を通じてよく収益をあげるものは最も奉仕をした(できる)者だ』と私は勝手に、直感的に理解したのですが、頂戴した冊子の中にある『最もよく奉仕する者、最も報われる』という、公式訳とはややニュアンスが異なっていることに気づきました。Service=奉仕の言葉の問題から派生する問題のような気がします。この点についても、ロータリー活動の行動規範の原点の理解のため、少し勉強させていただこうと考えました。今回は新会員セミナーへ参加させていただき大変ありがとうございました。

【次週予告】3月12日 第831回例会

◎卓話予定

「オペラと歌舞伎400年」

昭和音楽大学 教授

東京芸術大学 講師

永竹由幸氏

(紹介者 佐々木会員)

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉真史 〔幹事〕村山公士

〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕福島賢哉

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111